

北上支部だより

令和5年10月5日発行 No1
岩手県看護協会 北上支部

■支部長あいさつ■

県立中部病院 吉川 朗

今年度より北上支部長を務めさせていただくことになりました吉川朗と申します。岩手県看護協会の活動方針に基づき支部の役員、会員様ともども連携し活動を進めて行きたいと思っております。今年度は新型コロナウイルス感染症についても5類移行とともに with コロナの社会情勢を鑑み、活動を拡大できるのではないかと考えております。とは言っても、医療を取り巻く状況はまだまだ厳しい状況ですが、多岐にわたる看護領域において安全・安心な看護提供を行うためのネットワーク構築、看護の質向上に向けて取り組んで参ります。また、人口減少、少子化、独居高齢者の増加に対応するため何が必要か考え、今話題になっております医療 DX の取り組みについても研修会等企画して行きたいと考えております。今後とも皆様のご支援と協力をお願いいたします。

■看護フォーラム■

西和賀町役場保健師 廣田里美

5月13日(土)看護フォーラムが北上市保健・子育て複合施設hokkoを会場に行われ、市内高校生21名の参加がありました。2名の看護学生及び看護職3名のパネリストをお招きして看護を目指したきっかけや目指す看護像などを熱く語っていただいた後、5つのグループに分かれ高校生の質問や相談にパネリストや役員が応じました。「子育てをしながら出来る仕事か?」「看護学生はアルバイトできるの?」など具体的な質問もあり閉会後もパネリストへ直接質問する高校生の姿が多く見られました。アンケート結果からも「直接話を聞くことで、ネット検索だけではわからないことが知れた」などの高評価をいただきました。今後多くの方に看護職を担っていただけることを期待し、ご協力くださった皆様に感謝申し上げます。



■心のケア研修■

北上済生会病院 佐藤夕理子

7月5日(水)北上済生会病院にて「アドラー心理学による勇気づけとの協働『幸せ』に生きるためのアドラー心理学」をテーマに研修会が開催されました。講師に岩手県立大学社会福祉学部公認心理士・臨床心理士の菊地学先生をお招きしてアドラー心理学の考え方から、職場や日常生活の中ですぐに取り入れられることができる実践方法等を講義していただきました。

参加していただいた方からは「自分自身についてじっくりと考える時間となった」「書籍を購入したが、それだけではよくわからなかったことが理解できた」「明日からの対人関係に役立てていきたい」などの感想がよせられました。縦の関係だけではなく対等な関係で相手を共感し、ねぎらうことが良好な人間関係を築くことにつながり、幸せに生きるためのヒントを得ることができた有意義な研修となりました。



～令和5年度役員紹介～

支部長

吉川 朗 (岩手県立中部病院)

副支部長

亀甲 香 (北上済生会病院)

米澤恵利香 (西和賀さわうち病院)

書記

鎌田静香 (北上済生会病院)

千田綾子 (岩手県立中部病院)

会計

松本恵子 (北上済生会病院)

昆 修子 (岩手県立中部病院)

職能委員

蛭坂美咲 (北上市役所)

杉村麻衣 (北上済生会病院)

林 由紀 (岩手県立中部病院)

佐々木有美子 (岩手県立中部病院)

江本淳子 (北上済生会病院)

藤田由紀子 (医心館訪問看護ステーション北上)

推薦委員

佐藤夕理子 (北上済生会病院)

鈴木紀子 (岩手県立中部病院)

北島幸恵 (西和賀町役場)